

# 日本ユニシスが 小浜市にデータセンター建設を決定

■問い合わせ 商工振興課 ☎内線 225



松崎市長(右)、初井社長(中)、西川知事(左)が県庁で記者会見。12日

IT システム大手の日本ユニシス株式会社(本社=東京)が多田のポリテクセンター小浜分所跡地に、同社では最大規模となる大型データセンターを建設することを正式決定し、11月12日に県庁で発表しました。小浜データセンターは、平成23年4月に着工し、同24年1月の稼働を目指します。敷地面積2万㎡にまず、6万台が収容できるサーバー棟1棟を建設、事業の進展に応じ5棟まで増設し、合計30万台規模とする予定です。建物の屋上部分には太陽光発電を装備するなど、環境にも配慮した施設となります。



小浜データセンター完成予想図

松崎市長は、記者会見で「県内で初めてとなるデータセンターが小浜市に建設されることはこの上ない喜びであり、誇りである」と報告しました。

日本ユニシス株式会社の初井社長は「小浜市はデータセンターの立地に最適な場所で、先駆者として県、市と協力しながら事業の拡大を目指したい」と決意を語りました。

※日本ユニシス株式会社は、昭和33年設立、資本金約55億円、売上高2,710億円、従業員数約4,500人



●身近な話題をお知らせください! 情報課 ☎53・1111 内線 373

## 11/17 第5次総合計画答申

小浜市総合計画審議会は、2011年度から10年間のまちづくりの指針となる第5次総合計画案を審議し、松崎市長に答申しました。総合計画は、長期的な展望から将来像の指針を描く「基本構想」、基本的な施策を体系的に示した「基本計画」、具体的な事業を明らかにした「実施計画」からなります。市では、その基本構想を12月定例会市議会に提案します。



## 11/6 腹話術で学ぶ

腹話術を使って悪徳商法の手口を学ぶ講演会を働く婦人の家で開催しました。講師の田坂圭子さんは、点検商法、靈感商法など、高齢者を狙った悪徳商法や、クーリングオフ制度などの対処法を紹介しました。また、腹話術人形の「消ちゃん」との絶妙なコンビネーションで、会場は笑いの渦に包まれました。



## 10/31 ふるさと発見ウォーク

久須夜交流センターから田島区までを歩く「ふるさと発見ウォーク」が開催されました。今年は地域の歴史を学びながら歩く企画で、百人一首に詠まれた沖の石などについて「若狭の語り部」から説明を受け、参加者は郷土の歴史に触れながら楽しいひとときを過ごしました。



## 11/7 魚のプロに教わる

魚をよく知るプロから魚の買い方やさばき方を教わる「魚のプロに教わる」を開催しました。参加者は、普段見ることができない競りの様子を見学し、若狭小浜お魚センターで買い物体験をしました。その後、食文化館で魚のプロからカレイやイカのさばき方を教わりました。



## 11/14 自転車道の点検ライド

県が本年度から取り組んでいるサイクリングロードのネットワーク化に向け、点検ライドが行われました。点検ライドとは、一般モニターや自転車愛好家などが自転車に乗って実際にコースを走り、舗装や標識などの改善点を点検するものです。参加者は海浜小公園(小浜香取)をスタートし、利用者目線でチェックしながら、秋のサイクリングを楽しみました。